



★終業式を迎えることができました★

8月7日(金)は1学期の終業式でした。今年は、安全を考慮して、小学部と中学部が時間をずらしてそれぞれで行いました。感染症予防のために生活様式が大きく変わっても、子どもたちは風雨に負けず学校に通い続けました。その頑張りをほめました。また、1学期を無事に終えることができたのも、保護者の皆様のご理解とご協力の賜ものと感謝申し上げます。

【あいさつ・そうじ・うたごえ・自学・自立】

本校の合言葉です。1学期を通して、特に、子どもたちには「あいさつができる子に」というメッセージを伝え続けてきました。長期にわたる臨時休業の影響もあり、開校当時はなかなか声が出せませんでした。今では気持ちのよいあいさつができるようになってきました。家庭や地域でも学校と同様、温かく見守り育てていきたいと願っています。

2学期の始業式は、8月24日(月)です。短い夏休みですが、「3密」や水の事故に気をつけて、楽しい夏休みをお過ごしください。

★人権の花「ひまわり」が開花★



3年生が取り組んでいる「人権のひまわり」運動。1学期がんばった子どもたちを応援するかのよう、6月に植えたひまわりがきれいな花を咲かせています。

★確かな情報、冷静な行動★

●闘う相手は人ではなく、コロナウイルス！

新型コロナウイルスの感染者が急増する中で、感染した人や家族、医療従事者等の皆さんが SNS での心ない書き込み、誹謗・中傷などの人権侵害に苦しんでいます。そのため、8月5日(水)のお昼の放送で、子どもたちに以下の内容で話をしました。

私たちは、あらゆる人と協力し合ってこの感染症が広がるのを止めようと努力しています。
このような中で、とても悲しいことが起きています。
それは、いつ自分や家族がこの病気にかかるかもしれないといった不安や恐れから、感染した方やその家族、また病院などで働いている人に対して、「近よるな」、「あっちに行け」など、間違っただけを信じて、人を傷つけ悲しませるようなことを言ったり、したりする人がいるということです。
この病気は、いつ、だれがかかってもおかしくない病気です。
もし、自分や家族が病気にかかっても、お友達がかかっても、自分が悪い訳ではありません。お友達が悪い訳でもありません。だれも悪くないのです。大切なことは、しっかり病気を治すことです。
そして、みんなで自分の命、家族の命、お友達の命を守ることです。支えることです。コロナウイルスを理由に、人を遠ざけたり、傷つけたりすることは絶対に許されることではありません。
闘う相手は人ではなく、ウイルスです。(以下略)

まずは、わたしたち大人が確かな情報を持ち、噂や間違っただけの情報に惑わされず冷静に行動することが大切だと思います。

★進んで学ぶ東峰っ子★

【中学部：グットノート検定】

- ・国語ノート 1級
- ・7年生の井上桃花さんが受賞しました。おめでとうございます!!



【小学部：チャレンジノート終了証書受賞者】

- ★4年生
 - ・坂本綾香さん① ・熊谷颯真さん② ・井上妙來さん②
 - ・梶原小春さん⑧ ・熊谷 恵さん① ・植木そらさん⑦
 - ★5年生
 - ・太田悠花さん⑰ ・熊谷裕大さん①
 - ・和田葉月さん④ ・梶原羽珠さん④
 - ★6年生
 - ・中川瑛稀さん⑫ ・井上里桜さん⑩ ・泉 悠人さん④
 - ・梶原光葵さん⑪ ・太田はなさん⑥ ・安岡琉生さん⑥
 - ・三苫 滯さん⑪ ・室井葉月さん⑥
 - ・太田 亘さん⑥ ・鬼丸知音里さん⑩
- ※○の中の数字は、終了したノートの冊数です。